

2016 年度 ワークショップ活動

DV ワークショップ 相談員研修会

開催日 2017 年 3 月 23 日～26 日

会場 京都市（京都 YMCA）、
大阪市（QWRC）、

講師 スーザン・アームストロングさん

教育学修士、ブリティッシュ・コロンビア州公認クリニカルカウンセラーで、カナダ精神衛生協会プリンスジョージ支部の理事です。トラウマ分野のセラピスト、クリニカルスーパーバイザー、研究者、コミュニティ指導者として 20 年以上の経験があり、この 7 年間、トラウマと精神衛生の分野で非営利のプログラムを運営してきました。また、性的虐待に対応するチームを立ち上げ、コミュニティ全般の性的虐待の治療を実施する計画を作り、実施し、若者の性的搾取に関する研究を行い、さまざまな大学でも教えています。

研修概要

京都 Y W C A は、留学生寮や児童相談所の委託を受けて自立を支援している少女たちの施設運営、さらに、外国人の電話相談などを行っている。研修会には、それらの相談にのる相談員などに加え、学生、研究者などが参加した。英語の分かる参加者が多く、演習やロールプレイなどを直接英語で行う時間もあった。

大阪市で開催した Q W R C は、女性や子どもの暴力を生き抜いたサバイバーの問題への相談対応（主にネット）に加え、L G B T 性的少数者に対する暴力の問題や居場所作りに取り組んでいる団体で、今回はじめて研修会を共催した。参加者は、サバイバーが多く、自己紹介などもユニークで、これまでに経験したことのない研修会となった。当初、研修会や講師への警戒心がうかがえたが、講師がカナダでも L G B T への研修経験があり、資料もパワーポイント、事例などを含めて準備していた。従って、参加者は少数であったが、活発な研修となって、女性人権機構の今後の活動の広がり大きな示唆を与えた。

暴力のサバイバーに対する事例を基盤とした「安全計画」の演習では、小グループで当面の安全計画、経済的な安全計画などを議論して、模造紙に結果を発表しているが、講師によるとこれまで 7 年間研修をやった中で Q W R C 参加者の成果がすべての問題点を網羅していて、最も素晴らしいものだったと絶賛していた。参加者の研修に対するアンケートも大変積極的なも

特定非営利活動法人 女性人権機構

のが多く、再度研修会の開催を希望していた。

※この DV ワークショップ相談員研修会は「連合・愛のカンパ」による助成を受けました。